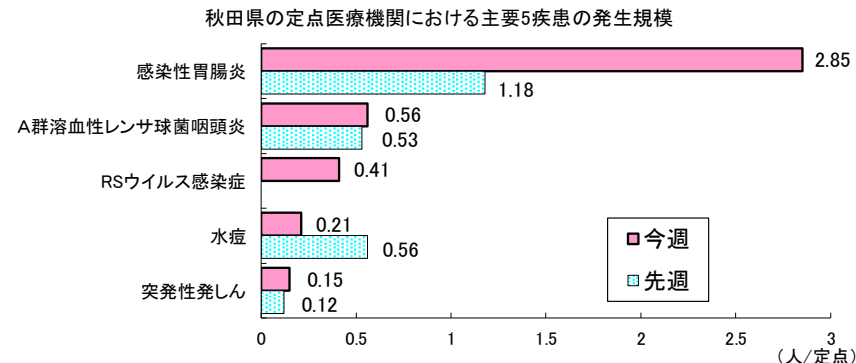




【第49週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で2.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、大仙で増加、秋田中央で同規模、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館、横手、湯沢で増加、由利本荘で同規模、秋田市、秋田中央、大仙で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で増加しています。保健所別では、北秋田で増加しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減			
RSウイルス感染症		0.41	↗								7.00	↗																		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.12	↗	0.14	0.14			0.25	↗									0.25	0.25								0.33	↗		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.56	↗	0.29	0.14	↘	0.75	1.50	↗						1.25	1.00	↘	0.25	0.25		1.50	1.00	↘	0.33	0.67	↗	0.33	↗		
感染性胃腸炎	1.18	2.85	↗	2.86	3.71	↗	0.50	2.00	↗	1.50	9.50	↗	1.00	4.00	↗	1.25	1.25		3.00	↗	1.25	3.50	↗	0.67	0.33	↘				
水痘	0.56	0.21	↘	0.71		↘	0.75	0.25	↘				2.33	0.33	↘	0.75	0.50	↘	0.25	↗	0.25	0.50	↗							
手足口病	0.03		↘				0.25		↘																					
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.12	0.15	↗	0.14	0.14		0.25		↘									0.25	↗	0.25	0.25			0.33	↗	0.33	0.33			
ヘルパンギーナ	0.03		↘																		0.25	↗	0.25		↘					
流行性耳下腺炎		0.03	↗															0.25	↗											
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が北秋田保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-48週		49週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	14536	64	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢	7		
	腸管出血性大腸菌感染症	2978	21	
	腸チフス	3		
	パラチフス			
四類	E型肝炎	400		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	65		
	エキノコックス症	23		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	8		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	109		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

(人)

類型	疾患名	1週-48週		49週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	375	3	
	デング熱	7		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	477		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	26		
	野兔病			
	ライム病	21		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1991	22	
レプトスピラ症	27			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	491	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	179	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1869	28	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	22		
	急性脳炎	309		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	167	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	589	4	
	後天性免疫不全症候群	958	2	
	ジアルジア症	34		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	179	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1268	9	
	水痘(入院例に限る)	268	5	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	7134	38	
	播種性クリプトコックス症	142		
	破傷風	89		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	116		
百日咳	639	5	1	
風しん	12			
麻しん	5			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	4			
* 新型コロナウイルス感染症		1784	1	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<咽頭結膜熱に気をつけましょう>

咽頭結膜熱は、アデノウイルスの感染によって高熱や喉の痛み、結膜炎等をおこす感染症です。全国的に、5～7月頃と11～12月頃に報告数が増加します(図)。第49週の秋田県の定点あたり報告数は0.12と例年と比べて低い値ですが、今後の発生動向に注意しましょう。

■アデノウイルスとは

アデノウイルスには多くの型があり、咽頭結膜熱は主に3型(他に4型、7型など)に感染することで発症します。ウイルスは患者の鼻汁、唾液、目やにの他、ふん便にも排出されます。そのため、飛沫感染だけでなく、手指やタオルを介した接触感染でも拡がります。症状が治まった後も数週間はウイルスの排出が続きますので、注意が必要です。

■症状

5～7日の潜伏期間の後に発熱し、頭痛や咽頭痛、全身倦怠感等に加え、結膜炎による結膜の充血や目の痛み、目やになどの症状が現れ、3～5日間ほど続きます。治った後でも、違う型に再び感染し、症状をくり返すことがあります。

■予防・治療について

咽頭結膜熱のワクチンはありません。予防には、次のことを心掛けましょう。

- ・患者との接触を避ける。
- ・手洗いやうがいを徹底する。
- ・タオルは共用しない。

特別な治療法はなく、ほとんどの場合は自然に治りますが、目の症状や頭痛などが強いときには、早めに医療機関を受診してください。

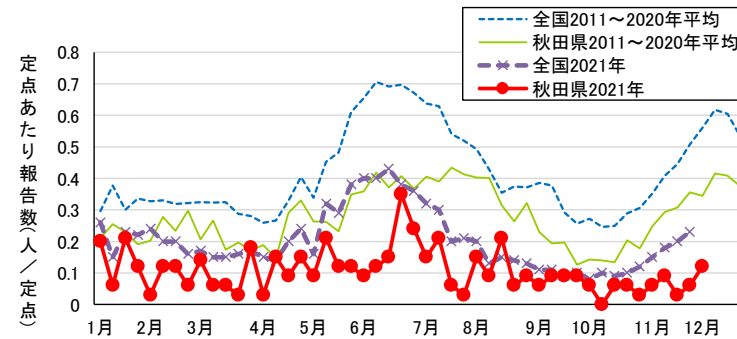


図 咽頭結膜熱患者の定点あたり報告数の推移

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生と疥癬の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児、入所者等	職員	計		
かぜ様症状	大仙市	協和まほろばこども園	12/7	100名のうち30名	34名のうち0名	30名	11/29～12/7	咳、鼻汁
疥癬	大仙市	介護老人保健施設 幸寿園	12/6	89名のうち11名	63名のうち5名	16名	12/1～12/6	掻痒感、発疹



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		